

平成 27 年度 事業報告

平成 27 年度の事業は、平成 27 年 3 月 30 日に開催された第 13 回理事会において決議された事業計画及び予算に基づき実施した。

また、研修事業では予算の補正を行い、平成 27 年 9 月 29 日開催の第 15 回理事会の承認に基づき事業を実施した。

なお、各事業内容は以下のとおりである。

1. 研修事業

(1) 各種研修会事業

当会が主催し、私学関係団体の協力・実施で 66 回の研修会を学校種別で以下のとおり開催した。

- ・大学関係 26 回 (参加者 4,063 人)
- ・短期大学関係 7 回 (参加者 984 人)
- ・高校、中学校関係 10 回 (参加者 7,965 人)
- ・小学校関係 8 回 (参加者 4,552 人)
- ・幼稚園関係 15 回 (参加者 11,142 人)

(2) 海外研修事業

海外研修審査委員会において、15 人を研修員として決定し、その後 13 人が研修を実施した。

(3) 基金等事業

公益性を目的とした研修事業として、研修基金を財源とした事業を実施した。

- ・総合学習 5 月 5 日のこどもの日に「作って飛ばして立体紙ヒコーキ」体験講座を実施した。(参加者 317 人)

(4) 研修成果刊行等事業

平成 24～26 年度の海外研修員の研修成果報告書の中から選出し、「私学研修第 169 号」を発行、全国の私立学校に配布した。

※ 国内研修事業・在校研修事業・研修成果刊行等事業（一般）は、諸般の都合により休止とした。

2. 福祉事業

本年度は、平成 28 年度実施予定の大規模改修工事を控え、その原資となる利益確保を最重要課題と位置づけ、安定的な利用件数の確保に尽力してきたが、ここ数年継続しているバンケット部門及びレストラン部門における利用件数・人数の減少については、マイナス幅こそ縮小するも、減少傾向は続いており厳しい状況となったが、宿泊部門においてはインバウンド効果により好調を堅持した。

この状況の中、利用者獲得を目指してのセールス活動の強化はもとより、近隣への各種行事パンフレット類のポスティングや SNS を活用しての情報発信等にも努めるとともに、スタッフによる料理展示会や氷彫刻大会等の館外活動への積極的参加や館外へ持ち出す販売商品の充実等にも注力し、当館の認知度向上にも努めてきた。

また、常時『安全・安心』を念頭に置き、食品衛生・防犯・防災対策等にも引き続き真摯に取り組むとともに、サービス技能士資格やサービス介助士資格保有者の増員にも努め、利用者からの評価向上を図った。

平成 27 年度の福祉事業部門利用総人数は 610,469 人となった。

(1) バンケット（会議・宴会・ケータリング業務）

私立学校、私学教職員、私学関連団体等の会議・研修会・総会及び懇親会等の開催場所として、また、一般企業・法人・団体等の各種行事等の開催場所として利用を承るバンケット業務の利用総人数は、385,903 人となった。

(2) レストラン業務

私学関係者、近隣住民・勤務の方々、各種会合・宿泊等の会館利用者の方々の飲食・会合の場としてご利用いただいているレストラン業務の利用人数は、192,927 人となった。

(3) 宿泊業務

私学関係者の出張及び各種会合に付帯するご利用に留まらず、多くの一般の方々にもご利用いただいている宿泊業務の利用人数は、31,639 人となった。

(4) 売店等（売店業務、駐車場業務）

会館内利便性向上のため、郵券・煙草他各種物品・菓子類等の販売及び宅配便取扱業務等を行った。